

プロでの活躍が恩返しに

—— ドラフト当日、指名された時はどんな思いが込み上げてきましたか？

佐藤 もちろん嬉しかったです。しかしながら、これから先のことが次々と頭をよぎり、喜んでばかりはられないという気持ちにもなりました。「ここからが始まり」みたいな。

—— 佐藤さんの目に映るプロの世界とはどういったものですか？

佐藤 「球団のために」「ファンのために」と選手が背負うものは大きいと思います。憧れの夢舞台であることは確かですが、そこに入ってみなければわからない様々な厳しさがあるのだらうと想像しています。

—— 10年後の佐藤峻一はどうなっていると思いますか？

佐藤 チームの大黒柱的存在となっていることはもちろん、日本を代表する投手と呼ばれていたいのです。やるからには上を目指して頑張らないと。



—— 最後に、町民の皆さまへのメッセージをお願いします。

佐藤 置戸町の皆さまからは、垂れ幕や商店街への張り紙などを含め、たくさんの祝福や激励のお言葉をいただきました。プロの世界で活躍することが恩返しになると思って頑張りますので、これからも応援よろしくをお願いします。本当にありがとうございました。

—— 今後の活躍を心から期待しています。今日はお忙しいところありがとうございました。



(取材：2012年12月3日 札幌にて)

雑談の中から

- いわゆる「意中の球団」はなかった？
佐藤 ないです。小さい頃から中日ファンではありましたが。
- 入団交渉、契約の雰囲気は？
佐藤 和やかとは言えない雰囲気でした。緊張しました。
- 契約金や年棒の使い道は？
佐藤 契約金は両親に預けたいと思います。特に自分では何かを買おうとは思っていません。
- プロで対戦したい打者は？
佐藤 パ・リーグでは日ハムの糸井選手ですかね。
- 投げ合いたい投手は？

- 佐藤 ソフトバンクの東浜投手などは意識しています。
- 一年目の目標は？
佐藤 開幕一軍ローテーション入りです。
- 今後チームに合流するまでにやっておきたいことは？
佐藤 ケガをしないための体力づくりです。トレーニングにロードワークを多く取り入れようと思っています。
- 友達と遊んだり、ゆっくりしたいとは思わない？
佐藤 あくまで野球中心の生活になると思います。時間は限られているので。
- さすがですね！